

10mエアライフル 10mエアピストル

個人種目

2022年度国内版

競技形式	
種目	エアライフル、エアピストル
種目の種類	個人
種目名	10mエアライフル男子 10mエアライフルジュニア男子 10mエアライフル女子 10mエアライフルジュニア女子 10mエアピストル男子 10mエアピストルジュニア男子 10mエアピストル女子 10mエアピストルジュニア女子
競技方式	<p>本選ステージ： エントリー数に応じて、1つ以上の射群で行われる。</p> <p>ファイナルステージ： 2022年度の国内試合のファイナルは原則として東京2020版で行われる。ただし、2022年度版ISSFルールによるファイナルの実施は妨げない。2022年度版ISSFルールは下記のURLから確認すること。 https://www.issf-sports.org/theissf/rules_and_regulations/rifle_rules.ashx</p>
会場	<p>全ての射群で屋内10m射撃場が使われること。</p> <p>本選は、本選射場で行われる。 ファイナルは、ファイナルホールもしくは指定されたファイナル射場で行われる。</p>
標的	全ステージにおいて、電子標的にて行われる。
得点	<p>本選 エアライフル：小数点での採点 エアピストル：整数での採点</p> <p>本選得点は、ファイナルへ持ちこさない。</p> <p>ファイナル エアライフル、エアピストルともに小数点での採点</p>
本選ステージ	
本選の進め方 選手の入場	各射群において、開始時刻の20分前に選手を射座に入れる。射場役員によるすべての競技前チェックは、準備と試射時間の開始前に完了する必要

<p>準備および試射時間</p> <p>弾数と制限時間</p> <p>後続の射群</p> <p>選手の入場 射場長の号令</p> <p>準備および試射時間</p>	<p>がある。</p> <p>15分間の準備および試射時間</p> <p>選手は1時間15分（75分）の制限時間で60発の本射弾を撃つ。</p> <p>複数の本選射群がある場合は、次の射群の選手が射座に呼び出されるまでに15分の間隔を設ける。この時間で撃ち終わった選手は射座から用具を出し、RTSジュリーが標的の点検と必要に応じて標的マスクの交換をする。</p> <p>開始時刻の20分前： “ATHLETES TO THE LINE（アスリーツ トゥー ザ ライン）”</p> <p>選手は5分間で割り当てられた射座に用具をセットアップできる。</p> <p>“FIFTEEN（15） MINUTES PREPARATION AND SIGHTING TIME, START（フィフティーン ミニッツ プレパレーション アンド サイティング タイム、スタート）” 14分30秒後、“30 SECONDS（サーティー セコンズ）” 15分後、“STOP（ストップ）”</p> <p>30秒間で電子標的を本射モードに切り替えた後： “MATCH FIRING START（マッチ ファイアリング、スタート）” 65分後、“10 MINUTES（テン ミニッツ）” 70分後、“5 MINUTES（ファイブ ミニッツ）” 75分後、“STOP, UNLOAD（ストップ アンロード）”</p>
<p>ファイナルへの進出</p>	<p>本選の上位8名がファイナルステージへ進出する。 ファイナルは東京2020版に従う。</p>
<p>同点の順位決定</p>	<p>ファイナルステージ進出の可否が問われる8位の順位決定は、ISSF同点の順位決定ルール6.15.1によって決定される。</p>
<p>音楽と声援</p>	<p>本選とファイナルでは、音楽をかけなければならない。テクニカルデレゲートは音楽プログラムを承認しなければならない。 すべてのファイナルステージにおいて観客による熱烈な応援は奨励され、推奨される。</p>
<p>ペナルティ</p>	<p>ペナルティはISSF規則に従って科される。</p>
<p>想定外の事態</p>	<p>上記に言及されていない事態には、ISSFゼネラルテクニカルルールが適用される。</p> <p>想定外や評価の割れる事態は、各種目のゼネラルテクニカルルールに従い、ジュリーによって裁定される。</p>